

どのむかしばなしかな？④

なまえ

むかしばなしのあらすじと、ただし「だいめい」をせんでむすびましょう

1

としよりのきこりとわかいきこりがやまできをきっていました。そのやまは「まもの」がでるといいうわさがあり、としよりのきこりは「まもの」がでないかとけいかいしていました。

2

あめがふるたびにながれてしまふはしがありました。むらびとたちからはしをつくるようにたのまされたおとこがなやんでいると、おにが「おまえのめだまとひきかえにはしをつくってやる」といい、はしをつくってしまいました。

3

おちやのかまにへんしんしていた「たぬき」がひよんなことからまずしいおとこにひきとってもらい、つなわたりなどのげいを見せとおかねをかせぎ、おとこはおかねもちになりました。

4

こころやさしいおじいさんといじわるなおばあさんがくらしていました。あるひ、おじいさんがはたけからいえへもどるとちゆう、けがをしているどうぶつをみつけました。かわいそうにおもったおじいさんはいえにつれていき、あてをしてあげました。

ぶんぶくちやがま

うしおにぶち

だいくとおにろく

したきりすずめ

